

第 2 1 回 山形県 地域年金事業運営調整会議(資料)

令和 7 年 7 月
山形年金事務所
(山形県代表年金事務所)

1. 地域年金展開事業の概要	3 P
2. 令和6年度事業結果報告（令和6年4月～令和7年3月）	5 P
3. 前回の会議で出た意見および課題への対応	1 5 P
4. 令和7年度取り組み方針	1 8 P
5. 【参考】公的年金の普及・啓発動画	2 1 P

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)

日本年金機構 / 情報の提供側

本部 広報室

・各事業部で策定した広報計画を取りまとめ、全体の広報実施計画を策定、進捗管理

本部 各事業部

・各事業部において、年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携

連携・共有

連携・共有

事業推進統括部 管理・市区町村調整G

・各事業部及び広報室との連携・共有、情報の確認
・関係機関との連携・共有、効果的な情報提供
・地域代表年金事務所との連携、連絡調整の依頼
・年金事務所への情報の提供、取組の指示発信
・年金委員への情報の提供、活動の協力依頼

連携・報告

地域代表年金事務所

・本部との連携、連絡調整
・年金事務所への助言、取組状況の把握、報告

連携・報告

年金事務所

・地域年金展開事業の実施
・年金委員、地域年金推進員への研修、情報提供、活動の要請

年金委員

連携・共有

連携・共有する機関

厚生労働省 ⑤

・年金局
・職業安定局
・保険局
・社会・援護局
・地方厚生(支)局

各事業部の取組

各事業部の取組

- ・未適用事業所にかかる取組
- ・被保険者の適用にかかる調査
- ・納付督促、免除勧奨にかかる取組
- ・年金給付にかかる取組
- ：
- 等

地域年金展開事業の策定

地域年金展開事業

～公的年金制度の周知～

- ① ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ② 年金制度説明会の実施
- ③ 年金セミナーの実施
- ④ 出張年金相談
- ⑤ 地域年金事業運営調整会議
- ⑥ 「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦ 「わたしと年金」エッセイ

協力・連携

各事業の実施

情報の受手側

学生

取組：①③⑥⑦

国民年金の被保険者

取組：①②③
④⑥⑦

厚生年金保険の被保険者

取組：①②④
⑥⑦

事業主

取組：①②④
⑥⑦

年金受給者

取組：①②④
⑥⑦

年金制度の周知・啓発

地域のネットワーク / 協力・連携する機関

地域 ⑤

・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
・地元企業
・教育機関(大学・高校・専門学校)
・商業施設・商工会
・地方自治体

関係機関/団体 ⑤

・全国年金受給者団体連合会
・全国社会保険協会連合会
・全国社会保険委員会連合会
・社会保険労務士会
・社会福祉協議会
・全国健康保険協会/各健康保険組合
・国民年金基金

1. 地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《本来の取り組み内容》

地域連携事業	<ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。
年金セミナー事業	職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員活動支援事業	年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和6年度事業結果報告（1/10）

令和7年7月18日
山形年金事務所

（1）地域連携事業

取り組み内容	実施した事項	実施状況 令和6年度（令和5年度）
年金制度説明会	①厚生年金加入事業所への制度説明会を開催（うちオンライン開催30回） ・算定事務講習会 ・制度説明会	山形年金事務所：2回 213名（3回 241名） 鶴岡年金事務所：22回 471名（3回 252名） 米沢年金事務所：5回 187名（2回 119名） 新庄年金事務所：3回 169名（2回 104名） 寒河江年金事務所：8回 256名（2回 135名）
	②一般財団法人山形県社会保険協会が主催する事務説明会への講師派遣 ・社会保険新任担当者事務講習会 ・社会保険事務講習会 ・年金説明会	山形年金事務所：4回 235名（4回 183名） 鶴岡年金事務所：4回 152名（4回 146名） 米沢年金事務所：3回 90名（3回 74名） 新庄年金事務所：2回 41名（2回 34名） 寒河江年金事務所：3回 84名（3回 59名）
	③山形県社会保険労務士会各支部が主催する研修会への講師派遣	山形年金事務所：3回 125名（2回 69名） 鶴岡年金事務所：1回 25名（1回 30名） 米沢年金事務所：実施なし（実施なし） 新庄年金事務所：実施なし（実施なし） 寒河江年金事務所：実施なし（1回 15名）
	④関係団体等が主催する研修会への講師派遣 ・年金協会 ・社会保険委員会	山形年金事務所：2回 146名（3回 179名） 鶴岡年金事務所：2回 88名（実施なし） 米沢年金事務所：7回 178名（6回 139名） 新庄年金事務所：実施なし（実施なし） 寒河江年金事務所：3回 112名（3回 174名）
	⑤国民年金に加入した20歳を対象とした制度説明会をオンラインにより開催	6回 46名（26回 327名） ※令和6年度は、4～9月に実施

2. 令和6年度事業結果報告（2/10）

令和7年7月18日
山形年金事務所

取り組み内容	実施した事項	実施状況 令和6年度（令和5年度）
市町村との連携	①国民年金事務担当者へ研修会を開催	山形年金事務所：6回 16名（2回 12名） 鶴岡年金事務所：5回 31名（2回 22名） 米沢年金事務所：4回 16名（2回 19名） 新庄年金事務所：4回 23名（3回 27名） 寒河江年金事務所：3回 16名（2回 13名）
	②国民年金事務新任担当者へ研修会をオンラインにより開催	1回 35名（1回 34名）
	③理事者（首長）や国民年金事務担当者へ公的年金事業に関して情報提供や意見交換を実施	山形年金事務所：17回（8回） 鶴岡年金事務所：5回（6回） 米沢年金事務所：8回（9回） 新庄年金事務所：10回（11回） 寒河江年金事務所：7回（10回）
	④市区町村向け情報誌「かけはし」を発行	・年6回（奇数月）発行 ・年金制度の内容や事務手続き、日本年金機構の事業について周知した。
	⑤市町村庁舎内へポスター掲示やリーフレット配布を依頼	学生納付特例、産前産後免除、電子申請、外国人の年金制度等のポスター、リーフレットを送付。

2. 令和6年度事業結果報告（3/10）

令和7年7月18日
山形年金事務所

（2）年金セミナー事業

取り組み内容	実施した事項	実施状況 令和6年度（令和5年度）
教育機関別の 実施状況	①大学・短大 ・14校中、実施1校 ・新庄、寒河江年金事務所管轄には対象校なし	山形年金事務所：実施なし（1校 345名） 鶴岡年金事務所：1校 165名（1校 100名） 米沢年金事務所：実施なし（1校 77名）
	②専修学校・各種学校 ・27校中、実施10校 ・寒河江年金事務所管轄には対象校なし	山形年金事務所：7校 419名（9校 603名） 鶴岡年金事務所：1校 14名（1校 29名） 米沢年金事務所：1校 26名（2校 53名） 新庄年金事務所：1校 50名（1校 54名）
	③高等学校 ・62校中、実施13校 ・税務署と共催で2校実施	山形年金事務所：9校 1,195名（9校 1,506名） 鶴岡年金事務所：2校 161名（3校 61名） 米沢年金事務所：実施なし（実施なし） 新庄年金事務所：1校 21名（2校 53名） 寒河江年金事務所：1校 63名（4校 286名）
	④中学校 ・97校中、実施1校 ・5年度の実施は無かったが、税務署と共催で実施	新庄年金事務所：1校 9名
	⑤特別支援学校 ・19校中、実施3校	山形年金事務所：1校 23名（1校 25名） 鶴岡年金事務所：2校 41名（実施なし） 米沢年金事務所：実施なし（実施なし） 新庄年金事務所：実施なし（実施なし） 寒河江年金事務所：実施なし（実施なし）

2. 令和6年度事業結果報告（4/10）

（2）年金セミナー事業（実施した教育機関名と受講者数）

事務所	実施月	教育機関	受講者数	令和5年度実施状況
山形	4月	4/12 山形県立産業技術短期大学校	94	山形県立保健医療大学 345名 山形県立産業技術短期大学 92名
	7月			日本大学山形高等学校 234名
	9月	9/26 上山高等養護学校	23	
	10月	10/4 山形歯科専門学校	25	山形医療技術専門学校 82名（DVD）
	11月	11/13 エコール山形（通信制高校） 11/26 創学館高等学校 11/28 山形市立病院済生館高等看護学院 山形医療技術専門学校（DVD）	7 189 30 66	山形市立病院済生館高等看護学院 28名
	12月	12/6 山形学院高等学校 12/13 山辺高等学校 12/23 山形工業高等学校（税務署と共催）	192 45 132	山形学院高等学校 160名 山形城北高等学校 285名（DVD）

2. 令和6年度事業結果報告（5/10）

事務所	実施月	教育機関	受講者数	令和5年度実施状況
山形	1月	1/29 山形中央高等学校	116	天童高等学校 120名 山形中央高等学校 125名 山辺高等学校 82名 国立病院機構山形病院附属看護学校 39名
	2月	2/5 山形調理師専門学校 2/10 天童高等学校 2/13 上山明新館高等学校 2/14 東海大学山形高等学校	27 134 163 217	創学館高等学校 169名 山形工業高等学校 201名 上山明新館高等学校 130名 山形調理師専門学校 32名 山形厚生看護学校 90名（DVD）
	3月	3/10,14,17,21 大原学園 国立病院機構山形病院附属看護学校（DVD）	141 36	大原学園 123名 上山明新館高等学校 130名 山形調理師専門学校 32名 山形医療技術専門学校 82名（DVD）
鶴岡	7月	7/3 東北公益文科大学 7/5 鶴岡中央高等学校	165 9	鶴岡中央高等学校 21名
	10月	10/23 鶴岡東高等学校（税務署と共催）	152	
	11月			東北公益文科大学 100名
	12月	12/12 酒田特別支援学校	20	加茂水産高等学校 24名

2. 令和6年度事業結果報告（6/10）

令和7年7月18日
山形年金事務所

事務所	実施月	教育機関	受講者数	令和5年度実施状況
鶴岡	1月	1/31 鶴岡養護学校	21	
	2月			遊佐高等学校 16名
	3月	3/6 鶴岡市立荘内看護専門学校	14	鶴岡市立荘内看護専門学校 29名
米沢	11月			米沢女子短期大学 77名
	12月			白鷹高等専修学校 21名
	2月	2/28 三友堂看護専門学校	26	三友堂看護専門学校 32名
新庄	7月	7/8 新庄市立八向中学校（税務署と共催）	9	
	10月	10/31 東北農林専門職大学附属農林大学校	50	山形県立農林大学校 54名 新庄南高等学校 16名 北村山高等学校 37名
	11月	11/13 新庄南高等学校	21	
寒河江	12月	谷地高等学校（DVD）	63	
	1月			谷地高等学校 49名 左沢高等学校 57名
	2月			寒河江工業高等学校 74名 村山産業高等学校 106名

2. 令和6年度事業結果報告（7/10）

令和7年7月18日
山形年金事務所

（3）地域相談事業


取り組み内容	実施した事項	実施状況 令和6年度（令和5年度）
出張年金相談	①お客様の利便性向上を図るため出張相談を実施 ・実施市町村：長井市、小国町、白鷹町、尾花沢市、大石田町 ・一日合同行政相談所、合同就職説明会	山形年金事務所：1回 2名（1回 2名） 鶴岡年金事務所：実施なし（実施なし） 米沢年金事務所：13回 45名（12回 43名） 新庄年金事務所：17回 67名（18回 82名） 寒河江年金事務所：実施なし（実施なし）
	②ハローワーク主催の雇用保険受給者説明会で年金制度を説明 ・実施ハローワーク：米沢、新庄、さがえ、村山 ・他のハローワークには、年金制度チラシの配布依頼	山形年金事務所：実施なし（実施なし） 鶴岡年金事務所：実施なし（実施なし） 米沢年金事務所：58回 1,588名（57回 1,462名） 新庄年金事務所：49回 733名（53回 716名） 寒河江年金事務所：54回 1,324名（23回 779名）
	③大型商業施設を利用した年金相談会を実施	山形年金事務所：実施なし（2回 19名） 鶴岡年金事務所：1回 8名（実施なし） 米沢年金事務所：実施なし（実施なし） 新庄年金事務所：実施なし（実施なし） 寒河江年金事務所：実施なし（実施なし）
	④免除・学生納付特例申請窓口を開設	山形年金事務所：実施なし（実施なし） 鶴岡年金事務所：実施なし（実施なし） 米沢年金事務所：実施なし（実施なし） 新庄年金事務所：2回12名（2回12名） 寒河江年金事務所：実施なし（実施なし）

2. 令和6年度事業結果報告（8/10）


令和7年7月18日
山形年金事務所

（4）年金委員活動支援事業

取り組み内容	実施した事項	実施状況 令和6年度（令和5年度）
委嘱拡大	①職域型年金委員 ・6年度上期は、50人を超える事業所を中心に勧奨を実施	山形年金事務所：670名（654名） 鶴岡年金事務所：481名（483名） 米沢年金事務所：419名（418名） 新庄年金事務所：135名（137名） 寒河江年金事務所：267名（268名）
	②地域型年金委員 ・教育関係者の委嘱に取り組む	山形年金事務所：70名（74名） 鶴岡年金事務所：19名（17名） 米沢年金事務所：13名（15名） 新庄年金事務所：9名（9名） 寒河江年金事務所：16名（22名）
研修会	①職域型年金委員研修会を開催 ・社会保険委員会主催の研修会は除く	山形年金事務所：1回 102名（2回 264名） 鶴岡年金事務所：1回 13名（2回 176名） 米沢年金事務所：2回 82名（1回 105名） 新庄年金事務所：1回 20名（実施なし） 寒河江年金事務所：実施なし（実施なし）
	②地域型年金委員との連絡会を開催 ・山形県地域型年金委員連絡会 ・年金委員地区連絡会	山形年金事務所：6回 38名（4回 35名） 鶴岡年金事務所：2回 10名（3回 14名） 米沢年金事務所：2回 10名（2回 11名） 新庄年金事務所：2回 4名（2回 6名） 寒河江年金事務所：2回 13名（2回 13名）
	③全国年金委員研修 ・職域型年金委員1名が現地で出席 ・オンライン視聴	山形年金事務所：3名（16名） 鶴岡年金事務所：11名（6名） 米沢年金事務所：7名（14名） 新庄年金事務所：実施なし（1名） 寒河江年金事務所：7名（26名）

取り組み内容	実施した事項
年金委員 功労者表彰	<p>多年にわたり、年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し功労者表彰式を開催しました。 全国健康保険協会山形支部、一般財団法人山形県社会保険協会、山形県社会保険委員会連合会より共催 いただきました。</p> <p>(受賞者集合写真)</p>  <p>【開催日】 令和6年11月22日(金) 【場所】 山形グランドホテル 【受賞者】 厚生労働大臣表彰 2名 日本年金機構理事長表彰 4名 日本年金機構理事表彰 6名</p> <p>※健康保険委員からは、厚生労働大臣表彰2名、全国健康保険協会理事長表彰7名、全国健康保険協会山形支部長表彰15名が受賞されました。</p> <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p>

(5) 「わたしと年金」エッセイ

取り組み内容	実施した事項
「わたしと年金」エッセイ	<p>年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に、ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度とのかかわり、「わたしと年金」をテーマにしたエッセイを募集しました。</p> <p>【募集期間】 令和6年9月9日(月)まで 【依頼】 山形県教育委員会、教育機関、市町村、商工会、図書館、関係団体 【応募状況】 全国で1,489件(山形県は応募なし)</p> <p>(募集ポスター)</p> 

2. 令和6年度事業結果報告（10/10）

（6）第16回山形県年金ポスターコンクールについて

取り組み内容	実施した事項
<p>ポスターコンクール</p>	<p>県内の中学生を対象に、年金制度に親しんでいただくため、「年金」をテーマとしたポスターを募集しました。</p> <p>厚生労働省東北厚生局、山形県教育委員会、山形県中学校長会、山形新聞・山形放送、NHK山形放送局、一般財団法人山形県社会保険協会、全国国民年金基金東北支部より後援いただきました。</p> <p>【募集期間】 令和6年9月17日（火）まで 【応募状況】 8校 60点（5年度は14校90点） 【受賞者】 最優秀賞 1点 優秀賞 5点 入選 7点 山形県社会保険協会長賞 1点 東北厚生局長賞 1点</p> <p>（山形年金事務所待合室に入賞者の作品を展示）</p> 

（募集要項）

第16回 山形県年金ポスターコンクール

応募締切 令和6年9月17日（火）

応募資格 山形県内の中学生

応募作品

- テーマは「年金」
- 『国民年金』『みんなが支える年金』等「年金」の文字を必ず入れてください。
- 年金が世代を超えて身近で親しみやすい制度であることを見込めるなど、公的年金制度をイメージした作品を募集します。
- 作品は未発表のものに限ります。
- 縦横：B3サイズ（515×364mm）または、画用紙四つ切のサイズ（540×381mm）
- 作品の裏面に、学校名、学年、氏名（ふりがな）を記入してください。
- 学校ごとの応募とします。
- 応募作品は返却しません。
- 応募作品は日本年金機構等の広報に使用します。
- 広報等にあたり、応募者の個人情報（氏名、学校名、学年）を使用することについては、応募があった時点で了承されたものとみなします。

賞

最優秀賞、山形県社会保険協会長賞、特別賞・東北厚生局長賞、優秀賞、入選、参加賞の授与ならびに表彰状を贈呈します。（参加賞は郵送のみ）

発表 令和6年11月予定

表彰 令和6年11月～12月予定
山形県年金事務所から受賞の中学校へ出向いて賞状等を授与します。作品賞を授与し希望学校等に郵送します。

提出先 日本年金機構 山形年金事務所 総務課課長 山形市あけぼの1-10-1
〒990-9515

主催 日本年金機構
山形県年金事務所

協力団体 一般財団法人 山形県社会保険協会

後援 厚生労働省東北厚生局 山形県教育委員会 山形県中学校長会 山形新聞・山形放送 NHK山形放送局 全国国民年金基金東北支部

3. 前回の会議で出た意見および課題への対応（1/3）

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
地域連携事業	若い方に対する教育も重要だが、実際にいま年金制度に加入されている方や今度の適用拡大で加入対象になる方の理解を深めるためのセミナーも必要ではないか。	厚生年金の加入や給付を受けられる際には、事前に制度を理解していただくことが非常に重要。年金事務所では、あらゆる機会を通じて年金制度の重要性、並びに健康保険も含めての制度の重要性を周知していきたい。	
	対面でのアプローチが必要な世代・対象者がいるのは理解できるが、オンラインでの説明会・セミナーの実施について、幅広く検討してもいいのではないかな。	特に若い方々はオンラインを活用して様々な情報を得ているということもあるので、オンラインを活用しながら制度周知を図っていきたい。	
年金セミナー事業	中学校のセミナー実施は無いが、難しい状況があるのか。	年金ポスターコンクールの募集案内時に、年金セミナーの案内も合わせて行っているが、授業の関係等で実施には至っていない。	
	特別支援学校に対して年金セミナーを実施されたが、その際の学校の反応をお聞かせ願いたい。特別支援学校に対する年金セミナー事業に力を入れた県があり、学生自らが理解するのは難しい中で保護者も参画させながら実施し、お子さんの年金を見つめなおし、自分の年金も見つめなおす良い機会になったと聞いている。山形県もそういった考えの基に広めていただきたい。	実施のきっかけは、保護者から高等養護学校を卒業したらどうなるのか心配とのことで要請があり、お子さんと保護者がセットで年金セミナーを実施した経過ある。その後は、かみ砕いてわかりやすく説明してほしいとの学校側の要請で、お子さんに対してのみ実施している。障害者手帳をお持ちの生徒もいるため、障害年金についても説明しながら、いつでも年金事務所に相談に来るよう伝えている。	

3. 前回の会議で出た意見および課題への対応（2/3）

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
年金セミナー事業	年金の講座にあたっては、例えばiDeCoやNISAなどの金融的なものと合わせた形での講座を企画いただけると、興味・関心が高まってくるのではないかと。	日本年金機構が担当する公的年金制度の周知については、しっかり対応させていただきたい。学生等が投資等を学べるような機会と併せて、社会全体の制度について理解を深めていただきたい。HPや動画等にアクセスをしていただきながら、更には年金制度についても周知できればより理解が深まると感じたところで、そういった視点からも年金制度の周知を図っていきたい。	
	山形年金事務所では、大学・短大を対象としたセミナーの実施に向けて、今年はアプローチ等何か考えはあるのか。	4年制の総合大学では、学部が多数あって実施が難しい状況だ。県立の4年制専門大学、短期大学校では、入学式後のオリエンテーションの中でセミナーを実施した経過がある。令和6年度はカリキュラムの関係や別の説明会の関係でできないが、令和7年度はできるのではないかと考えている。	
地域相談事業	県の高齢者支援課では、山形新聞社様の協力を得て、高齢者や家族への情報共有を目的として、山形新聞紙面に「くらしの疑問相談亭」という記事を掲載している。掲載内容を県内部で募集しているところで、年金制度の周知・啓発に活用いただけるのではないかと。	新聞掲載の枠を確保いただけるということで、積極的に活用させていただいて、年金制度について周知させていただく。	令和7年1月6日付山形新聞に「年金受給者の確定申告について」記事掲載
	新庄年金事務所での職域型年金委員研修会が0回となっているが、何か難しい状況があるのか。	職域型年金委員で組織する社会保険委員会が活動しているが、最上地区社会保険委員会は、活動停滞により研修会が開催されなかったのが一因。委員会活動を活性化させるべく、新庄年金事務所副所長中心に動いているところ。	

3. 前回の会議で出た意見および課題への対応 (3/3)

事業名	意見・課題事項	対応状況	備考
その他	令和6年度事業計画の全体的なことだが、プロセスの表現だけで数値目標がないため、数字を記載した方がよい。指標管理できないと事業が終わったところでの事後評価ができないので、やはり数値で示して努力することを視野に入れた方がよい。	目標について、数値を載せたうえで取り組みを行っていくということは重要なことなので、次回に向けて目標数値を載せるように検討していく。	
	年金ポスターコンクールについて、県大会から全国大会というものではないという理解で話すが、愛鳥週間のポスターコンクールは、全国大会まで行って優秀賞を取ると実際のポスターに使われて全国で掲示される仕組みだ。こういった仕組みを取り入れると、応募する方のやる気が掻き立てられるのではないか。	年金ポスターコンクールは山形県独自の取り組み。地域予選や全国で賞を取れるという目標が高ければ高いほどインセンティブが得られ、更に参加者が増えて制度周知にもつながると思う。山形県独自取り組みではあるが、広がるように、機構本部、東北地域部と情報共有しながらつなげていきたい。	
	エッセイ募集について、山形県の応募が大分少ないと感じたが、年金のエッセイとなるとなかなかハードルが高いと感じる。エッセイの取り組みとしてそのまま残しておいてよいと思うが、もう少し手軽なところで川柳とかだともう少し応募し易いと感じた。	より手軽な川柳等の検討をしたらよいのではないかと貴重な意見をいただきましたので、機構本部への上げていきたい。	

4. 令和7年度の取り組み方針（1/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
地域連携事業	①事業所や関係機関・関係団体と連携・協力し、年金制度の周知・啓発活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や地域における年金制度説明会を開催し、年金制度の周知を行う。 ・制度周知を目的としたパンフレット等の配布・設置依頼を行う。 ・関係機関・関係団体が主催する研修会等へ講師派遣を行う。 ・年金制度説明会の参加人数の目標を、対前年実績以上とする。
	②市町村と連携し、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）発行し、年金制度や事務手続き等を周知する。 ・市町村の国民年金事務担当者への研修会や打合せを実施する。 ・市町村の広報誌等への記事掲載の依頼を行う。
年金セミナー事業	次世代の主演となる学生・生徒を対象に、各種教育機関と連携して年金セミナーを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県教育委員会へ実施の協力依頼を行う。 ・教育機関のニーズに対応し、対面型や非対面型（オンラインやDVD視聴）の年金セミナーを実施する。 ・税務署と連携した年金セミナーを実施する。 ・中学生を対象とした「年金ポスターコンクール」の募集に併せて年金セミナーのアプローチを行う。 ・年金セミナーの参加人数の目標を、対前年実績以上とする。

4. 令和7年度の取り組み方針（2/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
地域相談事業	①お客様の利便性向上を図るため出張年金相談を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村における出張年金相談を実施する。また、市町村の広報誌等において出張年金相談のスケジュール等を周知する。 ・ハローワーク主催の雇用保険受給者説明会において年金制度の説明を実施する。 ・商業施設を利用した年金相談会を開催する。 ・教育機関において、免除や学生納付特例等の相談会を実施する。 ・11月の「ねんきん月間」、11月30日（いいみらい）の「年金の日」を活用し、年金制度の周知や啓発活動を行う。
	②個人向け・事業所向けともに、オンラインサービスの利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年金事務所の窓口に来所されるお客様に、概要説明及び操作案内を行う。 ・各種研修会や出張年金相談等でお客様と接触する機会に、概要説明および操作案内を行う。
年金委員活動支援事業	年金委員の研修会や連絡会を開催し、年金委員活動の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等と連携して、職域型年金委員の研修会を開催し、年金制度に関する周知を行う。 ・山形県地域型年金委員連絡会および地域型年金委員地区連絡会を開催し、年金制度の周知や年金委員活動の意見交換等を行う。 ・全国年金委員研修への参加やオンライン視聴する。 ・年金委員委嘱拡大のため、文書勧奨や電話、訪問等により新規委嘱者を獲得する。 ・職域型年金委員広報誌「スマイル ～職域型年金便り～」、地域型年金委員広報誌「支えあい ～年金委員だより～」を送付する。 ・年金委員功労者表彰式を開催する。

4. 令和7年度の取り組み方針（3/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
山形県年金ポスターコンクール	「第17回山形県年金ポスターコンクール」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等へ後援依頼を行う。 ・山形県教育委員会へ実施の協力依頼を行う。 ・県内中学校へ実施要領、ポスター、チラシを送付して作品募集を行う。 ・審査委員による入賞者審査会を実施する。 ・入賞者のプレスリリースを行う。 ・県内年金事務所長による入賞者への表彰を行う。 ・応募学校数、応募作品数の目標を、対前年実績以上とする。
「わたしと年金」エッセイ	公的年金制度をテーマとしたエッセイを募集する。	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県教育委員会へ実施の協力依頼を行う。 ・教育機関、市町村、商工会、図書館、関係団体へエッセイ募集のリーフレット、ポスターを送付する。 ・エッセイ募集のプレスリリースを行う。
地域年金事業運営調整会議	「第22回山形県地域年金事業運営調整会議」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者や関係機関・関係団体の委員から構成される山形県地域年金事業運営調整会議を設置する。 ・会議開催のプレスリリースを行う。 ・地域に密着した公的年金制度の周知や国民年金納付率向上等について意見交換を行う。

【参考】公的年金の普及・啓発動画

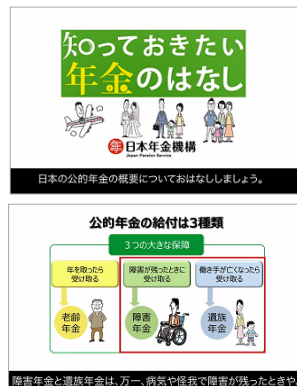
公的年金制度の普及・啓発を図るため、厚生労働省や日本年金機構では様々な動画を作成しています。その一部をご紹介します。

知っておきたい年金のはなし

知っておきたい年金のはなし（冊子）の内容をわかりやすく解説した動画です。

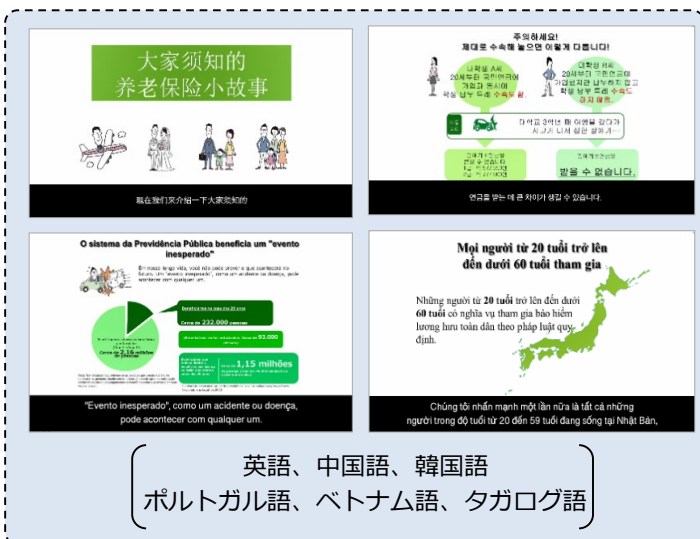


（冊子）



【約24分】

【外国語版6言語（それぞれ15分前後）】



国民年金ってホントに必要なの！講座

公的年金制度を「桃太郎」に例えながら、国民年金の仕組みや役割、大切さをわかりやすく解説するアニメーション動画です。

学生の方から大人の方まで、幅広い世代の方にご覧いただける内容です。



QuizKnockによる年金クイズ動画

厚生労働省とQuizKnockで年金について学べる動画を作成しました。年金の種類、物価の変動に関する問題等、年金についてクイズ方式で楽しく学ぶことができます。



【第1弾（約15分）】



【第2弾（約18分）】



【第3弾（約24分）】



【第4弾（約24分）】

ここでご紹介した動画は、機構HPに掲載しています。
右の二次元コードまたは以下のURLからご覧ください。
「年金について学ぼう」

<https://www.nenkin.go.jp/service/learn/index.html>

